

◆大安寺×川俣正「足場の塔」が完成

興福寺×サハンド・ヘサミヤンの「開花」も！

アーティストの川俣さんも加わり、仕上げに入っていた「足場の塔」がいよいよ完成しました。

「木材は世界のどこでも入手できる材料で、のこぎりなどのシンプルな道具があれば、みんなで作業することが出来る。」という川俣氏の言葉通り、海外も含め様々な場所から毎日20～30人が集まって作業を行いました。

「塔というのは、昔はその町の象徴。町のどこにいても、建物や林の向こうに、その頭がちょこんと見える。そのスケール感や雰囲気意識して構想を練った。」という「足場の塔」。穏やかな奈良の町並みに雄々しくそびえ立つ「塔」の存在感を、ぜひ古都祝奈良の期間中にお越しいただき体感してください

また、興福寺でもサハンド・ヘサミヤン氏制作の「開花」が完成しました。彼の祖国イランでもここ奈良でも古くから大切にされてきた蓮、その蕾をモチーフに「文化の開花」を表した作品で、三重塔のふもとに展示されます。

興福寺では10月10日まで、国宝に指定されている五重塔・三重塔の二つの塔が初めて同時開扉されています。この機会に併せてご覧ください。



完成した大安寺「足場の塔」(写真上)と興福寺「開花」(写真下)

◆維新派公演「アマハラ」のチケット。いよいよ販売開始！ SPACのチケットも引き続き発売中

10月14日(金)から24日(月)まで上演される維新派「アマハラ」のチケット販売が8月28日(日)から始まりました。

維新派がかねてから望んでいた平城宮跡での公演で、2010年に上演した、アジアをテーマに“海の道”を可視化した作品を、再構成して上演します。四方に展開する地理が歴史を呼び起こしてくれる、まさに身体に空間の広がりや時間の深遠を強く感じられるこの地で新しい風景に出会ってください。

9月9日(金)から12日(月)に上演するSPAC-静岡県舞台芸術センター「マハーバーラタ〜ナラ王の冒険〜」のチケットも引き続き販売中です。公演間近ですので、お早めにお求めください。



【チケット情報】

SPAC、維新派とも、一般/5,500円、25歳以下/3,000円

事前にSPACのチケット(7月23日発売)を購入された方を対象に、割引価格(4,500円)にて維新派のチケットを販売いたします(維新派1公演につき10枚)。セット券をご希望のお客様は、まずはSPACのチケットをご購入ください。

チケットの申し込み方法は公式ホームページをご覧ください。

◆ポップアップレストラン・なら国際映画祭・春日野音楽祭 など
9月はイベントが目白押し！

9月3日（土）からいよいよ始まる「古都祝奈良ー時空を超えたアートの祭典」。

9月はいろいろなイベントが目白押しです。

オープニングイベントに引き続き、9日（金）から12日（月）には平城宮跡東区朝堂院においてSPACによる「マハーバーラタ～ナラ王の冒険～」の公演、17日（土）から25日（日）には、ならまちセンター芝生広場においてポップアップレストランを展開します。

“ゲル”がポップアップし、リサーチを重ねて作り上げた奈良を感じるレシピをご提供します。海外からのサポートシェフも参加し、ポップアップレストランを盛り上げます。



写真右：SPAC「マハーバーラタ～ナラ王の冒険～」
左：第一回ポップアップレストラン

17日（土）から22日（木）には、企画連携事業の「なら国際映画祭」が開催され、18日（日）には「東アジア文化都市 2016 奈良市」シンポジウムシリーズとして、映画監督の河瀬直美氏や俳優の別所哲也氏ら東アジアの第一線で活躍する映画人たちを招き、「アジアから世界へ」をテーマにトークディスカッションを行います。

また、18日（日）・19日（月）には、同じく企画連携事業である「春日野音楽祭」があり、「日中韓 Music フェスタ in 春日野音楽祭」として、寧波市、済州特別自治道からミュージシャンを迎え、伝統楽器公演や民謡公演、チェロやヴァイオリンのソロ公演、さらに、日中韓によるヴァイオリン・チェロ・ピアノの三重奏も披露する予定です。



このほか、市民連携事業として、18日・19日には「ナ・L I V E 2016」、22日（木）から25日（日）には「日中韓3か国の和を創る、若者公開討論会&交流会」も開催されます。

盛りだくさんのプログラム、古都祝奈良を思う存分お楽しみください。

担当：奈良市東アジア文化都市推進課

電話：0742-27-0120

FAX：0742-27-0121

Mail：culturecity-nara@city.nara.lg.jp



公式HP



Facebook



Twitter